

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2016
vol.231
毎月1日発行

8月号

杜の伝言板 ゆるる

月刊



- 高校生へ伝えたいNPOの思い～NPOで高校生の夏ボラ体験2016～
- 障がいをもちながらも 安心して働ける職場をめざして 菊地 茂(NPO法人シャロームの会)
- 「食」を正して健康な体と穏やかな心 NPO法人おりざの家

みやぎNPOプラザからのお知らせ

リニューアルで探しやすくなりました!

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



高校生へ伝えたいNPOの思い

～NPOで高校生の夏ボラ体験2016～

NPOで高校生の夏ボラ体験（以下、夏ボラ）は、今年も宮城県内三十二のNPOの協力により、県内の高校生一三五名がボランティアに取り組みます。

このプログラムの重要な位置づけとなっている「事前学習会」には、まっすぐな目でNPOの講義を受ける高校生の姿がありました。

受け入れNPOの活動紹介で何となくNPOがどんな活動をしているのかを知り、ボランティア体験先の担当者との顔合わせで不安が消え、ボランティア体験をイメージできるまでの貴重な時間となりました。

●●●●● 人気が高いNPOからの メッセージ

「今年度の事前学習会で出会った高校生の皆さんから、活動に対しての真剣な想いを感じました」と、名取市を中心に活動するNPO法人子育て応援団ひよこ（以下ひよこ）理事長の齋藤勇介さん。

「緊張しながらも、真剣な表情でメモを取りながら話を聞く姿。



▶ 齋藤勇介さん

▲ 団体のパンフレットをじっくり読み込んで



きつと不安と期待が入り混じっていたのではないのでしょうか。そんな新たな経験に自ら一歩踏み出したこと、とても素晴らしいことだと思っています」と、今年の高校生へ期待を寄せています。

「昨年のひよこでの夏ボラは、「地域が子育て親育ちを応援し、見守り、支え合う子育て環境の実現」という団体理念のもと、「遊びを通じて全力で子どもたちと向き合いながら、その「育ち」を支え、子どもたちや子育て中の親子のホッと出来る居場所作りに取り組みました。その中で子どもたちや地域の親子の笑顔を育みながらも、「お姉さん、いっしょに遊ぼう！」

「こっちはおいで〜！」とまっすぐに自分を見つめる子どもたちの眼差しや言葉から、他人に受け入れられることの意味を知り、その笑顔から元氣やあたたかな気持ちを得ることが出来たのではないのでしょうか。

「NPO活動は営利を目的とした活動ではありません。夏ボラではその活動から得られるもの大きさ、尊さを知る良いきっかけになったと実感しています。これからの社会を担っていく高校生の皆さんにはこの活動を通じて、利益追求だけではない大切な何かを感じて、社会へ出るための階段を一步步ずつ歩んで欲しいと思います」と齋藤さん。

「今年、法人が運営する児童センターで、子どもたちと遊びやスポーツのほか、夏休みに行う行事のサポートを行います。」

●●●●● ママになる前に赤ちゃん と接する機会に

ボランティアを受け入れてくれるNPOは、主催者である杜の伝言板ゆるると日ごろから顔の見える関係であり、未成年の高校生を受け入れるため、活動中に心配りをしてくれる夏ボラ担当者を配置

してくれるなど、細やかな対応をお願いしています。

二年前から、夏ボラへの申込みが少しずつ増えてきた石巻圏域。今年は新たに、石巻市で活動するNPO法人ベビースマイル石巻が体験先に加わりました。

今回、高校生を受け入れた理由を、代表理

事の荒木裕美さんにお聞きしました。



▲荒木裕美さん

「孤立し

た子育て環境が多い現在では、当事者同士だけではなく、スタッフや地域の方など多様な方との出会い一つひとつが親子にとって社会に接する大切な機会になります。今回夏ボラを受け入れる理由は、ママ達から、ママになる前に子どもと接する機会や、赤ちゃんや親の気持ちなどを知っていたかったという声が多く、少しでも高校生のみなさんに子ども・子育てを知っていただければという思いがあります。また、最近、高校や中学校の授業で赤ちゃんとママと交流する時間の協力をしています。ママ達が「自分の子育てが人の役に立つことが嬉しい」という声がとても多く、学生との出会いは双

方によいものだなと実感したことも大きな理由です」。

ベビースマイルが運営する、マタニティ・子育てひろば「スマイル」は、親子が交流できる居場所です。子育て支援には、待機児童問題などでよく耳にする保育所だけでなく、地域の子育てを支援する場があることを知る、考える夏になるはずですよ。

●●● 高校生へ伝えたい思い ●●●

「仕事を知る、社会を知る、N

POの思いに触れる、活動を知る、子どもに触れる、子どもを知る、親を知る、親子の姿を知る。ボランティアの活動は、そんな様々な思いにふれ、知る、気づきの一歩なのではないかと私自身も改めて感じました」と、子育て家庭を支援するNPO法人せんだいファミリースポーツ・ネットワーク(以下ファミサポ)夏ボラ担当者の小野寺聖子さん。

毎年、夏ボラ体験後には、高校生がボランティアを通して感じたことを体験談として寄せてもらいます。昨年度ファミサポで体験した高校生からは、「目の前で子どもが成長を見られることに感動し、子どもが好きだけでなく、子ども

▲高校生と顔合わせをする小野寺さん(右奥)



の成長に関わっていきなれと思つた」という体験談が寄せられました。

まさに、体験から心を動かされたことを見つめ、自分の将来への道につながる選択に気付いたことは、このプログラムのもう一つの狙いでもあります。

「私たちの活動は、今もそしてこれからも、子育て環境に目を向け、日々子育てに奮闘している母親・父親を力強く支え、応援していくこと。その思いを高校生に伝えていければ」と小野寺さんは、今年の夏ボラへの思いを語ってくれました。

●●● 始まったボランティア体験 ●●●

七月二十一日、NPO法人ゆうあんどあいでの活動を皮切りに、今年の夏ボラがスタートしました。ゆうあんどあいでの体験初日は、学校・家族とも違う、人生の先輩である高齢者の皆さんの話し相手。

「今まで、ボランティアを体験したことがなかったので、興味もあって。一人で高校最後の夏休み、挑戦してみようと思ったのが、きっかけです」と、体験に臨んだ高校三年生のYさん。その日の体験が終わるころには「初日なので緊張しましたが新鮮でした。今日以上に、二、三日目は自分からコミュニケーションをもっと取りたいと思います」と、明るく語ってくれました。

今年も、多様な世代・人と出会う夏が始まりました。NPOの数だけ、解決したい思い・ミッション(使命)があります。さあ、今年の夏は高校生の皆さんにとって、どんなNPOとの出会い・気づきが待っているのでしょうか。

障がいをもちながらも 安心して働ける職場をめざして



菊地 茂

NPO法人シャロームの会 理事長

二〇〇〇年に私の行政書士事務所、精神の障がい者手帳をもった女性を職親としてお預かりしたのが、現在のシャロームの会の始まりです。

職親制度というのは、事業主が市町村から委託を受けて、障がいをもった方々をお預かりする制度です。第一号のKさんは、私たちのNPOを卒業して現在一般就労をして頑張っています。

この時の体験で私が学んだことは、「障がいを持っていようといまいが、その人の人格には何ら変わりないこと。彼らが仕事を通して社会とつながり、そのことを通して自信や生きがいを見つけると、更に本来の力を発揮していく」ということです。

●●● 始めはおむすびの店 ●●●

二〇〇四年に小規模作業所として認可をいただきました。

まず友人・知人などにNPOの会員となっていたいただき、会員向けのギフト販売を始めました。次に近所の空き倉庫を改装して「玄米カレーとおむすびの店」をオープンしました。それが現在、新寺にある「太陽とオリーブ」です。

障害者自立支援法が施行された

翌年二〇〇六年には、まっ先に手を挙げて二〇〇七年四月から新制度に移行しました。新しい制度には早く乗った方が良いという私の持論からです。

新しい制度がなんたるかも十分理解しないままでの移行でしたが、支援費は二ヶ月後、それまで蓄えていた資金を店の改装費用で使ってしまったので暫く運営は大変でした。

しかし地域のボランティアさんに支えていただきながら、なんとかみんなで時折閑古鳥が鳴く店を回っていた懐かしい時代です。

二〇一一年東日本大震災の時には、メンバーさんを全員無事送り届け、三日目の月曜日から炊きだしを始めました。約半月、地域の皆様に炊きだし活動が続けることができたのは、遠方からのボランティアさんたちの助けに負うところが非常に大きかったです。

その年にみやぎNPOプラザの「オリーブの風」と「グループホーム・ハーモニー」を開設。

翌年に三越141フロアの「オリーブガーデン」を、西宮城野に「キッチンハーモニー・ポコ」をオープンしました。

●●● サロンの参加者とイタリアへ ●●●

シャロームの会では年に数回、地域に開かれた「オリーブサロン」を開催しています。

落語を聞く会・ミニコンサート・諸外国の料理教室(韓国・ベネズエラ・ブータン・等々...)。いずれも地域で音楽や文化活動をしている方々に講師をお願いしています。

二〇二二年に「ポロニーヤに学ぶ町づくり」という会を開催した時、井上ひさし氏の《ポロニーヤ紀行》のDVDを見ました。その時、参加者から「ポロニーヤに行ってみたいね」という声があがり、二〇二三年九月、サロン参加者と



▶イタリアでのレクチャー

ンバーさんご父兄・総勢十五名でイタリアに行くことになりました。

折角行くからには観光だけではなく、現地の社会的企業を見学しようという事で、企画をしてくれた会の理事さんをお願いしたら、ヨーロッパ最古の大学と言われているボローニャ大学で全盲のクオモ先生(障害者教育専門)の講義を聴く機会を得ました。クオモ先生がおっしゃった「障がい者もそうとしない」障がいのある人をそのまま受け入れる」という言葉は、シャロームの会の「あなたは、そのままですばらしい存在です」と重なるように感じました。

また精神・知的障がいを持つ人たちが運営する「コーパップス協同組合農園」とヘレストラン・イルモンテを訪問。井上ひさし氏が「ホームレスも障がい者も、大人も子ども共に手を取り合って生きる街・ボローニャ」と語ったように、町全体が一人ひとりの生き方を大切にし、社会的弱者や障がい者に対するオープンな雰囲気と温かみを感じる町でした。

台湾の社会的企業を視察

二〇一四年、大変好評だったイタリア研修に続き今度は台湾に

行って社会的企業を見学しようということになりました。

まず台北市から委託を受けてガソリンスタンド等を運営している「勝利財団」を見学。この団体の理念は「命の価値を大事にすること」「人間の潜在的能力を活かすこと」。一般のスタンダードと同じように六十人もの「視覚障がい者」を除く八種類の障がいをもったメンバーさんたちが二十四時間・三六五日働いていました。もちろん給油のほか、洗車もOKです。

次に訪問した「若水国際」は立派なオフィスビルの中に入っていて、都市銀行のクレジット・データ入力などをしていました。データ入力処理では正解率九十九・九九％という信頼を得、キヤドを使っての電気的设计図も作成していました。一般企業に負けないスキルと営業力。オフィスで働くメンバーさんたちは皆さん車椅子の方でしたが、バリアフリー以外は一般の企業となんら変わらない。素晴らしい先駆的な社会的企業だと感じました。

当事者中心の支援体制

さて日本では、二〇一三年に自立支援法から総合支援法へと移行

しました。

旧「障害者自立支援法」では、自立した生活を営む事ができるように支援を行うが、新法では、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしくと明記されています。障がいの有無によって分け隔てられることなく、共生する社会を実現する。どこで誰と生活するかを本人が選択できる。また今までの「制度の谷間」と言われてきた難病の方々も障害福祉サービスの対象となりました。相談支援事業所も増え、一人ひとりのケアプランを複数の支援機関が連携をして支援していきます。

福祉先進国と言われているイタリアやイギリスなどの先例に習って、当事者中心の支援体制が少しずつ整えられてきたのではないかと思います。私たちのシャロームの会では、この八月から、A型へ最低賃金を



▶新しくオープンする「オリイの社」

◀新しくオープンする「オリイの社」内部



保証され、雇用契約を結ぶ形態の支援事業として、中央卸売市場の二階の飲食店のフロアに、洋風厨房オリイの社をオープンします。障がいをもちながらも安心して働ける、生きがいのある職場を目指して。

出来るだけご本人の体調にあわせてシフトを組み合わせながら、尚且つ一般の店舗に負けない位のサービスを提供できるお店を目指していきます。これからもご支援をどうぞよろしくお願いします。

NPO法人シャロームの会

〒984-0051 仙台市若林区新寺2-3-1 長屋ビル

●TEL : 022-293-4345

●FAX : 022-293-4346

●E-mail : sharoomudesu@mountain.ocn.ne.jp

●URL : <http://www.sharome.net/npo/index.html>

「食」を正して

健康な体と穏やかな心

NPO法人おりざの家

「食事は、生きていくには欠かせないことです。でも、その食べる物(食材・献立)や食べる環境によっては、その人にとって心身の健康につながっていないこともあるのです。」と話すNPO法人おりざの家の代表、佐藤宏美さん。

「おりざ」とは、ラテン語で「稲」を表す言葉。「稲」、つまり日本では主食となるお米です。栄養豊富な胚芽を取らない玄米を主食に、野菜を中心とした副菜で、昔からの食生活を大事にした食べ方を皆さんに普及することと合わせ、食卓を囲む家族の食べ方も見直す取り組みをしています。

●●日本の自然の恵みを食す●●

山元町出身の佐藤さんは、縁あって仙台市太白区長町に嫁ぎ、四世代家族の台所を預かることになり、慣れない食事準備や家事などに懸命に取り組んできた結果、体調の不良から倒れ、病院を渡り歩くことに。ストレスが原因と分かり、健康を取り戻すには自助努力が必要と考えた時、自然療法の大家、東条百合子氏に出会い、玄



▲代表の佐藤宏美さん



▲おりざの家

米中心の食生活改善に取り組みました。

食べ方を変えたことで徐々に元気が出てきて体調も回復していったそう。いかに「食べる力」は大きいことか、と身をもって知った佐藤さんは、良いことは黙っていられない、人に伝えたい!と長町の地で料理教室を二十年前から開いてきました。

現在は、忙しさのあまり家庭から失われつつある行事や祝い事などを見直そうと、日本の四季折々の節句や記念日、お祭りなどの伝統行事の際に食す「行事食を味わう」講座を毎月のように開催しています。

五節句と言われる一月七日の七草節句、三月三日の桃の節句、五月五日の端午の節句、七月七日の七夕、九月九日の重陽の節句をテーマにしたほか、二月の節分や八月のお盆、九月の十五夜など、四季折々の行事食を味わい、そこに伝わる「心」を学ぶ講座です。始めたころは定員十二名で一日だけでしたが、希望者が多くなり、今は三日連続で開催しています。食べるだけではなく、作りたい人向けに、フォローアップ教室もあります。

このほか、玄米自然食料理教室は、毎月、入門編が二回、基礎編



▶七夕の会の料理

▶落ち着いた室内



が一回、上級編が一回、精進料理教室は年に四回開催しています。八月は、二十五日(木)、二十六日(金)、二十七日(土)の行事食を味わう「十五夜の会」があります。定員十二名で予約が必要です。で、お早めに！

●●子どもの一生を左右する食事●●

「今、共働きや生活時間の違いから朝食を食べない子どもが増えています。親が朝食を作らない家庭もあります。子どもは、登校してから時間が経ち空腹感を覚える」と苛立ち、暴力的になる傾向があ

ります。これは忙しいで済まされることではないと思います」と佐藤さんは話します。食事は、何を食べるかだけでなく、誰と一緒に食べるのか、という食卓を囲む環境も合わせ、子育ての中でも「子どもを育てたいのか」が問われる大事な食育です。

食卓を囲むことで子どもとの会話が進み、子どもが何を食べたかを把握できる。そして食事の準備に子どものお手伝いを入れることで、子どもも食事の支度を覚える。このような積み重ねで、子どもは身の回りのことがしっかりできる自立した生き方を学んでいく、と佐藤さんは考えています。そして「でも、今の母親自体、病気ではないけど健康ではない、元気な体で子育てしていないように感じるの」と続けました。まずは、母親が食生活を改善して健康になることが重要なのではないでしょうか。

●●みんなで食べる「おりぎの食卓」●●

おりぎの家は、孤食になりがちな子ども、高齢者が、昔の大家族のように皆で食卓を囲める環境を作る「おりぎの食卓」を九月から始めます。「きちんとした食生活を

◀店頭の掲示板



目指し、次の三つにこだわっています。

- 一、旬の食材を使った手作りの味
- 二、本物の調味料を使用
- 三、感謝の心、命を大切に頂く心を養う

「共働きやシングルのお母様、お父様へ」と書かれたチラシには、「今日は夜勤。うちの子、今日も一人ぼっちで夕飯・・・」一人の時でも季節の野菜や手作りの食事をさせたいな。」というときは、「おりぎの食卓へ」、と呼びかけています。

毎週木曜日の十六時から十九時半まで。利用したい場合は、事前登録が必要です。また、この活動を支援する調理

ボランティアや資金を提供するサポーターも募集しています。詳細は、おりぎの家に問い合わせてください。



NPO法人おりぎの家

〒982-0011 仙台市太白区長町一丁目12-14

●TEL/FAX : 022(249)1625

●URL : <http://orizaki.jimdo.com/>

リニューアルで探しやすいになりました!

みやぎNPO情報ネット

知りたい情報をクリック! <http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

NPOを知る・設立する

みやぎのNPOを探す

NPOのお役立ち情報

NPOの情報を掲載する

メールマガジン登録

みやぎNPO プラザ 事務局及びショップギャラリー使用団体募集
 |平成28年度熊本地震|に関する支援情報

トピック TOPIC

8/1(月)~2(火) NPO法改正など NPOに関する情報を掲載
 [主催: 総務省]

特定非営利活動促進法(特定NPO法人日本NPOセンター)

特定非営利活動促進法の一部を改正する法律(平成二十八年法律第七〇号)に関する資料を掲載しました。※一部準備中です。[内閣府]

宮城県内の認定・仮認定NPO法人19団体のパンフレット (2016年2月末時点)[宮城県]

NPOの資金探しはココ!!

みやぎNPO プラザからのお知らせ NEWS

レストラン「シャーレみやぎの」営業中です

[現在申込受付中の講座]
 ・認定NPO取得への第一歩!認定NPO法人講座 7/27(水)
 ・NPO会計 こんな時、ど~する!?知っておきたい“仕訳”の考え方 9/8(木)

[NPOのための専門相談]
 ・会計・税務相談 11月25日(金)
 ・認定NPO法人申請相談 随時受付中
 ・法人設立・団体運営相談 毎週水曜

みやぎNPOプラザ情報「One to One」最新号(2016年7/1発行、Vol.92)
 みやぎNPO「アフリカ」(開催期間) 9/14(水)開催 みやぎNPO「アフリカ」

NPO向けの講座や相談会、施設利用案内などの情報です

助成金情報
 > ●2016年度国内助成プログラム 公益財団法人トヨタ財団
 > ●ジャパン・プラットフォーム (JPF) 第26回「共に生きる」フアンド (東日本大震災被災者支

イベント&講座 **ボランティア募集** **有給スタッフ募集** **会員・利用者募集** **NPOが対応する各種相談**
 NPOが主催するイベント&講座情報一覧
 > 07月21日 ラムサール条約登録湿地 第2回化女沼の自然 NPO法人エコパル化女沼

NPOから市民の皆さんへ 参加したい活動が見つかるかも!

みやぎNPO情報ネットは、NPOに役立つ情報のほか、NPOが市民の皆さんへ呼びかける様々な情報をまとめて発信しているウェブサイトです。この春、サイトをリニューアルし、さらにモバイル端末からでもサイトが見やすくなりました。

今回のリニューアルで横一列に並んだNPOから市民への情報提供タグは、NPOが市民に呼び掛けるイベントやセミナーなどのほか、ボランティアやスタッフの募集、そしてNPOが行う電話相談など、市民生活に必要な情報が満載です。特に「ボランティア募集」のページは、いつもアクセス数が一番多く、ボランティア活動に対して関心が高いことが分かります。その期待感、情報ネットで一日平均七〇〇を超えるページビュー数が証明しています。

まずはパソコンやお手持のスマートフォン、タブレットで、「みやぎNPO情報ネット」を検索してみましょう!

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

みやぎNPOプラザ

NPO会計こんな時、ど~する!? 知っておきたい“仕訳”の考え方	9/8(木)	13:30~16:30
NPOのための リスクマネジメント講座	9/28(水)	14:00~16:00
認定NPO法人申請相談	相談日は要相談 13:00~17:00	

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
 (指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)
 ☎ 022-256-0505 ☎ 022-256-0533
 ✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット
 ●TEL/FAX: 022-256-0511
 ●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
 ●<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

杜の伝言板ゆるる 2016. August Vol.231 8

平成28年度 JICSNGO支援事業助成

- 助成対象：1.開発途上国における現地支援事業※
2.国内における事業※
①NPO・NGOの組織基盤の安定・強化事業
②啓発事業(開発途上国問題)
③ネットワーク型NPO・NGOの行う事業
※環境分野、スポーツ振興分野枠あり
- 対象団体：開発途上国支援活動の実績を3年以上有し、主たる事務所を日本に置く団体
- 助成金額：単年度(1年) 1件あたり上限100万円
複数年度・人材育成(2年)
1年目上限100万円 2年目上限80万円
- 応募締切：郵送とE-mail両方での提出が必要
(申請要領をご確認ください)
郵送 8月18日(木)当日消印有効
E-mail 8月18日(木)24:00
- 連絡先：一般財団法人日本国際協力システム総務部総務課
JICSNGO支援係
TEL：03-5369-7480
URL：<http://www.jics.or.jp/jigyouno/index.html>

公益財団法人イオン環境財団 2016年度 第26回環境活動助成先公募

- 助成対象：「生物多様性の保全と持続可能な利用のために」という基本テーマで、A.植樹B.森林整備C.砂漠化防止D.里地、里山、里海の保全E.湖沼・河川の浄化F.野生生物の保護G.絶滅危惧生物の保護の7つの活動分野に該当する活動
- 対象団体：開発途上国および日本国内での活動を対象とし、上記活動分野に該当する事業、且つフィールドワークを伴う活動を行っている団体
- 助成金額：総額1億円
- 応募締切：8月20日(土)消印有効
下記URLにて仮申込後、本申請用フォームをダウンロードし、必要事項を記入しとうえ郵送
- 連絡先：公益財団法人イオン環境財団
TEL：043-212-6022
URL：<https://www.aeon.info/ef/>

平成29年度 NFD one leaf fund

- 助成対象：日本の自然環境及び景観の保全につながる公益的な活動や福祉活動 ※詳細は下記URL参照
- 対象団体：上記対象活動を行う団体・個人(日本フラワーデザイナー協会の会員・非会員を問いません)
- 助成金額：1件あたり上限80万円
- 応募締切：8月31日(水)当日消印有効
- 連絡先：公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
TEL：03-5420-8741
URL：<http://www.nfd.or.jp/nfd-crs/nfd-one-leaf-fund>

平成28年度 第3期

公益財団法人仙台観光国際協会市民国際交流事業補助金

- 助成対象：仙台市内で行われる国際交流、多文化共生、国

際協力活動、異文化理解を促進するための事業

- 対象団体：主に仙台市内で活動し、団体構成員の過半数が仙台市在住又は通勤・通学している非営利団体
- 対象期間：2016年10月1日～2017年3月31日
- 助成金額：上限10万円 ※補助対象金額により交付額の上限が異なる
- 応募締切：8月31日(水)必着
- 連絡先：公益財団法人仙台観光国際協会
TEL：022-268-6260
URL：<http://www.sentia-sendai.jp/>

平成28年度重い病気を抱える子どもたちの学び支援活動助成

- 助成対象：重い病気を抱える子どもたちの学びを支援する活動
- 対象団体：NPO法人、社団法人、社会福祉法人、財団法人等の非営利的活動を行う団体
- 助成金額：総額1,000万円以内
(1件あたり50～200万円程度を想定)
- 応募締切：8月31日(水)必着
- 連絡先：公益財団法人ベネッセこども基金助成事務局
TEL：04-7137-2570
URL：<http://benesse-kodomokikin.or.jp/>

2016年度研究助成プログラム

「社会の新たな価値の創出をめざして」

- 助成対象：これからの社会が対応を迫られる困難な課題に私たちはどのように向き合えばよいのか、その基本的な考え方や方法論を探求し、研究の成果が「社会の新たな価値」として共有されるように努める意欲的なプロジェクト
(A)共同研究助成、(B)個人研究助成
※詳細は、下記URL参照
- 対象団体：NPO・NGOなど市民活動を担う方々、大学・研究機関等
- 助成金額：(A)共同研究助成総額 約8,000万円
(B)個人研究助成総額 約2,000万円
- 応募締切：9月2日(金)15:00
下記URLにて応募エントリー後、応募者専用ページにログインし、必要事項を入力し送信
- 連絡先：公益財団法人トヨタ財団 研究助成プログラム
TEL：03-3344-1701
URL：<https://www.toyotafound.or.jp/>

平成28年度(第6回)災害時(東日本大震災) ボランティア活動助成

- 助成対象：東日本大震災による被災者支援のための継続的なボランティア活動
- 対象団体：活動している会員数が5名以上の営利を目的としない団体・グループ(任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人、大学のサークル等)
※法人格の有無・活動実績不問
- 助成金額：1団体あたり上限30万円
- 応募締切：9月15日(木)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人和証証券福祉財団 事務局
TEL：03-5555-4640
URL：<http://www.daiwa-grp.jp/dsf/>

E-mail : grieffoffice@gmail.com
URL : <http://www.sendai-griefcare.org/info/lecture.html>

9/11

皮膚炎患者サークルCalanColon交流会

アトピーなどの皮膚炎患者さんや皮膚炎を持つ子どもの親御さん、悩みや疑問を持っていませんか？リラックスしながら話して情報交換します。

- 日 時：9月11日(日) 14:00～16:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 4階 研修室3 (仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 対 象：アトピーなどの皮膚炎患者、皮膚炎を持つ人が身近にいる人
- 参加費：およそ300円程度
- 申込方法：下記の連絡先にお問合せください。
- 主 催：皮膚炎患者サークルCalanColon
- 連絡先：TEL：080-6091-8297(平澤)
E-mail : calancolon.tohoku@gmail.com

9/11

杜の子まつり あそびの広場in石巻

「かえっこパズル」と「Atoa.の和太鼓演奏」、遊びや工作のコーナー、「おもちゃのオークション」もあるよ！皆で楽しく遊んじゃおう！！

- 日 時：9月11日(日) 12:30～16:00
- 場 所：河北総合センタービックバンアリーナ
- 内 容：かえっこパズル(おもちゃコーナーと体験ブース)、パフォーマンス鑑賞(和太鼓ユニット「Atoa.」など)
- 主 催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX : 022-375-3548
E-mail : morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL : <http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/>

9/16

第2回国際介護フォーラム 日本にボランティア文化を ～カナダにおける市民参加の実情を学ぶ～

今回、カナダのオタワ市より介護医療の専門家を招き、フォーラムを開催します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- 日 時：9月16日(金) 14:00～17:30(開場13:30)
- 場 所：仙台市福祉プラザ 2階 ふれあいホール (仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 内 容：【第1部】基調講演 14:05～
「日本における介護ボランティアの実情」

講師：吉永 馨氏(NPO法人仙台敬老奉仕会理事長、
元東北大学医学部付属病院院長)

【第2部】フォーラム 15:05～
「カナダにおける介護ボランティアの実情」

講師：レベカ氏、カレン氏
クリスティアーヌ氏(カナダ・オタワ市
ブリューエル病院の介護医療専門職)

- 定 員：300名 ※余席がある場合は当日入場可
- 参加費：無料
- 申込方法：申込用紙に必要事項を記入し、下記連絡先に
FAXで申込み。
※申込用紙は下記URLからダウンロード可能
- 申込締切：9月5日(月)
- 主 催：NPO法人仙台敬老奉仕会
- 連絡先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-5-18 大熊ビル3階
TEL/FAX : 022-725-7284
URL : <http://sendaikeirou.web.fc2.com>

9/27

平成28年度仙台市市民協働事業提案制度 SHIRO Lab. 48時間デザインマラソン 仙台市八木山動物公園編

SHIRO Lab.は仙台市域に暮らす障害のある人と地元デザイナーが、一緒に商品開発を行うプロジェクト。「48時間デザインマラソン」と題し仙台市八木山動物公園を舞台に、これまでになかったおみやげをつくり、その成果を障害のある人たちの経済的自立につなげようと試みます。

- 日 時：9月27日(火) 10:00～16:00
9月28日(水) 10:00～16:00
- 場 所：仙台市八木山動物公園 ビジターセンター研修室 (仙台市太白区八木山本町1-43)
- 対 象：※仙台市在住/在学/在勤の方を優先
A：障害のある人で動物が好きの人
B：障害のある人と生産活動を行っている福祉事業所
C：障害のある人や福祉事業所との商品開発に関心がある、または実績があるデザイナー
- 定 員：30名(先着順)
- 参加費：無料(ただし、仙台市八木山動物公園までの交通費、入園料は各自ご負担ください)
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL・E-mailで申込み
- 申込締切：8月22日(月)必着
- 主 催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン
- 連絡先：東北事務局
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内 No.16
TEL : 070-5328-4208
E-mail : soup@ableart.org
URL : <http://www.ableart.org/>

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL : 022-791-9323 FAX : 022-791-9327
e-mail : npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www/miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

ていただける方や、目の不自由な方へのサポートに関心がある方など、どなたでもご参加いただけます。

- 日 時：8月31日(水) 10:00～16:00
- 場 所：旭ヶ丘市民センター 3階 第1会議室
(仙台市青葉区旭ヶ丘3-25-15)
- 内 容：1.講義 視覚障害者の理解とサポート法
2.実技 ガイド歩行の基本
・基本的なガイドの方法
・階段を昇り降りするときの介助
・席への誘導 など
- 定 員：15名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：8月8日より下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。申込み時、氏名、住所、TELをお知らせください。
- その他：当日は、筆記用具持参の上、動きやすい服装、靴でご参加ください。昼食の準備はありませんので、各自でお取りください。(会場内での飲食可能)
- 主催：NPO法人アイサポート仙台
仙台市中途視覚障害者支援センター
- 連絡先：〒984-0073 仙台市若林区荒町215
荒町中央ビル1階
TEL：022-212-1131 FAX：022-212-1136
E-mail：sisien@sky.plala.or.jp
URL：http://www15.plala.or.jp/isupport/

8/31 毎日が楽になるお片付け講座

お片付けの基本と、自分に合ったお片付けのコツを知って毎日を楽しく過ごしませんか？

- 日 時：8月31日(水) 10:30～12:00
- 場 所：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
(仙台市青葉区一番町2-5-12一番町中央ビル8階)
- 講師：早坂 啓美氏(整理収納アドバイザー1級)
- 参加費：300円(コーヒー付き)
- 主催：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
- 連絡先：シニアセンター 一番町サロン(担当：及川)
TEL/FAX：022-217-0101

9/3 第2回赤とんぼ食堂 ～環境保全米とホヤごはん～

農薬・化学肥料を一般的な量の半分以下に減らした、安全・安心なお米、宮城県の「環境保全米」と、宮城の海の幸「ホヤ」を一緒に調理し、美味しい宮城県の食材を味わいながら、食の安全・安心について学びましょう！

- 日 時：9月3日(土) 10:30～14:00
- 場 所：エル・パーク仙台 調理実習室(食のアトリエ)
(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル(仙台三越定禅寺通り館)5階)
- 定 員：30名(先着順)
- 参加費：1,000円(税込・当日支払い)
- 持ち物：エプロン、三角布、ふきん、筆記用具
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。参加代表者の氏名、年齢、連絡先(複数人で参加する場合、参加者全員の氏名・年齢)をお知らせください。
- 申込締切：8月22日(月) ※キャンセル受付は9月1日(木)午前まで
- 主催：NPO法人環境保全米ネットワーク
みやぎの環境保全米県民会議

- 連絡先：NPO法人環境保全米ネットワーク事務局
TEL：022-261-7348 FAX：022-261-7488
E-mail：okome@epfnetwork.org
URL：http://www.epfnetwork.org/okome/

9/8 NPO会計 こんな時、ど～する!? 知っておきたい“仕訳”の考え方

NPO会計によくある事例から仕訳のスキルを学びます。例えば、こんな時どうしていますか？「理事や金融機関からお金を借りた」、「有給スタッフの源泉所得税を給与から差し引いた」など…日々の会計は、さまざまな仕訳の繰り返しです。基本の考え方をしっかり理解して、自信をもって処理ができるようにしていきましょう！

- 日 時：9月8日(木) 13:30～16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講師：小野 恵子さん(会計サポーター)
- 内 容：「貸方」「借方」とは
資産や負債などの考え方
NPO会計によくある仕訳の事例 など
- 対象：NPO・市民活動団体の会計担当者など
- 定 員：20名(申込先着順)
- 参加費：1,000円(税込)
- 持ち物：筆記用具、電卓
- 申込方法：参加申込書にご記入の上、下記連絡先にFAX・E-mail・郵送で申込み。申込書は下記URLリンク先からダウンロード可能。(TELでの申込みもお受けします)
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyuu/koza_k20160908.html

9/10 連続公開講座・7人の専門家・実践家 からグリーンケアを学ぶ 第3回「子どもへのグリーンサポート」

現在、わが国では年間100万人以上の方が病気や事故、犯罪、災害、自死などでお亡くなりになり、500万人を超える方がご遺族となっています。誰もが体験する、かけがえのない人との別れ。地域で、職場で、そして家庭でも必要とされているグリーンケアの知識。ご興味のある方はぜひご参加下さい。

- 日 時：9月10日(土) 10:00～12:00
- 場 所：仙台市医師会館 5階 研修室
(仙台市若林区舟丁64-12)
- 講師：佐藤 利憲氏(福島県立医科大学)
- 内 容：「子どもへのグリーンサポート」
- 対象：グリーンケアに関心のある方でしたらどなたでもご参加可能
- 定 員：60名
- 参加費：一般：3,000円、個人・法人会員：1,000円
- 申込方法：下記へTELまたはE-mailにてお申込み下さい。
E-mailでお申込をされる際は、件名に「〇月〇日公開講座申込」とし、本文に氏名、ご職業又はご所属、TELを明記の上、申込み。
※TELでのお申込みの際は、同様の内容をお伺いいたします。
- 申込締切：9月7日(水)
- 主催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
佐藤利憲研究室(福島県立医科大学看護学部)
- 連絡先：TEL：070-5548-2186

8/26

平成28年度消費者市民講座
「トリセツ(取扱説明書)からみる製品安全の奨め!」
～使用者を守るための取扱説明書 実は事業者を守るためのもの?製品事故の予防にはなっていない～

消費者市民講座は、専門家のお話や体験等を通じて日常生活でのトラブル解消など、賢い消費者になるための講義です。お誘い合わせの上ご参加下さい。

- 日 時：8月26日(金) 14:00～15:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター4階 研修室5 (仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師：山岸 義彦氏(NPO法人日本テクニカルデザイナーズ協会 代表理事)
- 定 員：20名(先着順)
- 参加費：500円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mail・郵送でお申込み下さい。お申込み時、「消費者市民講座申込」と記入し、氏名、ご住所、TEL、FAX、E-mail、受講日をご連絡下さい。
- 主 催：NPO法人仙台・みやぎ消費者支援ネット
- 連絡先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3 仙台市市民活動サポートセンター レターケース86番 TEL/FAX : 022-265-9469 E-mail : semicos-net@cosmos.ocn.ne.jp URL : <http://blog.canpan.info/semicos-net/>

8/27

みんなの印刷物デザイン講座
Plusパワーポイント講座

市民の情報発信に必要なデザイン・レイアウトの基礎を学ぶとともに、実際にパソコンを使用しながらより自由度の高いパワーポイントによる目を引くタイトル部分の制作などを学びます。

- 日 時：8月27日(土) 13:30～16:30
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階 会議室b (仙台市青葉区春日町2-1)
- 定 員：10名(先着順)
- 参加費：2,000円(当日会場にてお支払いください) ただし、当日キャンセルの場合はキャンセル料

縦覧 申

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

8/31

視覚に障害のある方へのボランティア養成講座

目の不自由な方を、ボランティアとしてサポートするために必要な知識やガイド方法を基礎から学ぶ講座です。講座修了後、仙台市中途視覚障害者支援センターで開催している、目の不自由な方と家族の交流会や、仙台市障害者地域活動推進センターきりんの活動等においてボランティアとして活動し

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

宮城県のNPO法人数

809 団体

- 宮城県等所轄：390団体 ●仙台市所轄：419団体

※2016年7月10日現在

NPO法人の設立を新しく申請した団体 宮城県等所轄分6月11日～7月10日

団体名	所在地	活動内容	受理日
Cloud JAPAN	気仙沼市	社会企業家及びその関係者に対し協力の輪が多次元に重なり合う仕組みをすることにより、世界中の人が誰かのための何かをする喜びを楽しみ続けることができる世の中づくりに寄与する。	6/16
みさとスマイルネットワーク	美里町	美里町の住民、とりわけ高齢者や障害者並びに被災者が住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができるための事業を行う。	6/29

NPO法人に認証された団体 宮城県等所轄分6月11日～7月10日 仙台市所轄分6月11日～7月10日

団体名	所在地	活動内容	認証日
いろいろ・みんなのみち	東松島市	地域資源を活かした市民主体のまちづくりを実現するための事業を行うもの。	7/7
環	若林区	児童福祉法に基づく指定障害児通所支援事業、児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業、障害者総合支援法に基づく指定計画相談支援事業 他	6/24

- 準備物：パソコンを持参できない方にはWindows7のパソコンを用意します(使用料は無料)
- 申込方法：予約制ですので、希望日の5日前までTEL・FAX・E-mailまたはホームページの専用申込欄からお申込み下さい。
- 応募主体：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連絡先：TEL/FAX：022-796-8091
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：http://e-elder.jp/tohoku/

障がい者(チャレンジド)の方々のための 就労訓練生を募集中

シャロームの会では、仙台市より指定を受けた多機能型障害者福祉サービス事業所です。就労訓練生を随時募集しています。訓練生には工賃の支給があります。また、施設利用料の負担もあります。詳細は、TEL・FAX・E-mail等でお問合せ下さい。

- 活動場所：カフェギャラリー「太陽とオリーブ」
(仙台市若林区新寺2-3-1)
- 活動内容：・「太陽とオリーブ」の運営(接客、厨房、清掃など)
・定期的ギフト取り扱い(年4回)
・通年米の取扱い
・SST研修 など
- 訓練時間：10:00～16:00
- 申込方法：下記連絡先へ問合せ
E-mailの場合、件名に「問合せ」とご記入下さい。
- 応募主体：NPO法人シャロームの会
- 連絡先：〒984-0051 仙台市若林区新寺2-3-1 長屋ビル
TEL：022-293-4345 FAX：022-293-4346
E-mail：sharoomudesu@mountain.ocn.ne.jp
URL：http://www.sharome.net/npo/index.html

NPO法人ゆうあんどあいが手作り弁当を宅配します!

「薬を飲んでいるから食べられないものがあるけど…」 「アレルギーがあるんだけど…」 「一回だけでもいいかしら…」 etc
高齢者の方はもちろんのこと、小さいお子様がいらっしゃるご家庭など、どなたでもご利用いただけます。

- 代 金：1個あたり600円
- 特 徴：550kcal・塩分は3g以下を目安に!
★安心な食材を使用し、栄養士が日替わりの献立を作成
★町内会・老人会の集まりにもお届けいたします。
★1回だけでも、定期的な配達も承ります。
申込予約が必要です。
- 対応日：月曜日～金曜日営業
※土・日・祝祭日はお休み
- 応募主体：NPO法人ゆうあんどあい
- 連絡先：NPO法人ゆうあんどあい弁当部
〒983-0841 仙台市宮城野区原町2-1-53
TEL：022-292-7551 FAX：022-257-1510
URL：http://npo-youandi.sakura.ne.jp/



8/17 あなたの心に寄りそう 傾聴サロン

誰かとゆっくり話したい、悩みを聞いてほしい…あなたの不安や悩み、誰にも言えない心の内を話にきませんか。誰かに話す(放す)ことで、心の重みが軽くなり、気持ちの整理も

できると言われています。個別で対応しますので、被災された方、一般の方、どなたでもお気軽にご参加ください。(守秘義務遵守、プライバシーは守ります)

- 日時・場所：時間すべて10:00～15:00
◆8月17日(水)、9月21日(水)
岩沼市総合福祉センター iあいプラザ
◆8月21日(日)、9月18日(日)
名取市市民活動支援センター
◆8月28日(日)、9月未定
塩竈市耆番協会会議室
◆9月3日(土) 仙台市福祉プラザ
- 電話相談：電話での傾聴も実施しています。
毎週火・木・土曜日 9:00～17:00
専用電話：080-3199-4481
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：〒981-1232 名取市大手町5-6-1
名取市市民活動支援センター内
TEL：090-6253-5640 FAX：022-343-9705
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaikeicho.web.fc2.com/

8/20 児童館へいらっしゃ〜い&納涼祭

仙台市東四郎丸児童館は『NPO法人FOR YOUにここにこの家』が仙台市指定管理者を受け運営しています。“いつでも遊びに来られる児童館”として、子育て・子育ち・児童の健全育成等に取り組んでいます。児童館へいらっしゃ〜い&納涼祭は、どなたでもご参加いただけます。

- 日 時：8月20日(土) 10:00～11:30(受付9:40～)
- 場 所：東四郎丸児童館
- 内 容：おぼけやしき2016、ハリーレストラン、スライムづくり(1人1回)、ゲームコーナー(ダーツ、輪投げ、魚釣り)
- 対 象：どなたでも
- 主 催：東四郎丸児童館
(管理・運営：NPO法人FOR YOUにここにこの家)
- 連絡先：東四郎丸児童館
〒981-1101 仙台市太白区四郎丸字大宮26-10
TEL/FAX：022-242-2845

8/20 第16回アディクション・フォーラム

私たちは誰かとつながることで楽に生きる知恵を持っています。この素晴らしい人間の知恵を私たちは伝え続けていきたいと思えます。問題だらけで弱いままつながるお祭り、それがアディクション・フォーラムです。

- 日 時：8月20日(土) 10:00～17:00
- 場 所：仙台市シルバーセンター 1階 交流ホール
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容：基調講演「原点回帰～回復にたどり着くまで～」
森 和浩 氏(東北会病院 外来部長)
オープンスピーチ(仲間の体験談)など
- 定 員：300名
- 参加費：前売券800円 当日券1,000円
※チケット販売については、下記URLをご確認ください。
http://sendai-darc.org/%E4%BB%8A%E5%BE%8C%E3%81%AE%E4%BA%88%E5%AE%9A/
- 主 催：アディクション・フォーラム実行委員会
- 連絡先：事務局(NPO法人仙台ダルク・グループ内)

動の趣旨をご理解いただき、見学・体験をした上、お申込みください。

- 募集主体：地域生活支援オレンジねっと
- 連絡先：事務所&サロン
〒981-8002 仙台市泉区南光台南1-1-23
TEL：022-251-6435 FAX:022-253-2872
URL：http://chiiki-orangenet.org/

- 申込締切：8月17日(水)
- 主 催：ACT53仙台
- 連絡先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-5
コーポラス島田A-105
TEL：070-5322-2976 FAX：022-295-2910
E-mail：act53sendainakama@yahoo.co.jp
URL：http://blog.canpan.info/act53sendainakama/

事業案内

エコフェスタ2016 リユースマーケット もったいない市 出店者大募集

もったいない市は、「暮らしを見つめ直し、必要なものを大事につかう生活へ」、「家庭で不要になったものは必要としている人にバトンタッチしていく」場の提供と、「リユースを楽しく伝えるお祭り」です。各参加者・参加団体を募集中です！

- 日 時：9月4日(日) 10:00～15:00
- 場 所：勾当台公園 市民広場 グリーンハウス前
- 内 容：【古布の山】
不要の衣類やシーツ・タオルなどを集めています。透明な袋などに入れてお持ちください。ふるしきや毛布、きもの・帯なども集めています。
※持ち込めないもの：わたの入ったもの(ジャンパー、キルティング、ぬいぐるみ等)、カーテン、生地、ハギレ等、フリース、ビニール、革製品、制服、作業服、洗濯していないもの、汚れのひどいもの

【リユースマーケット】

家庭用の不要品を楽しく販売！

※古着の仕分け・販売のボランティアも募集中！

- 出店条件：1シート/2.5m×2.5m
◆販売品は家庭で不要になった品物に限る。
◆商売がらみの販売や業者の方の応募は固くお断りします。
- 定 員：限定30シート
- 参加費：3,000円
- 申込方法：下記連絡先まで往復ハガキ・E-mail (携帯不可)・FAXで申込み。「代表者氏名、住所、電話番号(当日も連絡可能な番号) /FAX」「参加人数」「販売品名」を明記して下さい。
※FAXで申込みの場合はFAX番号も明記。
※要項不備の場合は無効となります。
※締切後、要項審査のうえ出店許可書(注意事項等)を送ります。

学びの感動!ふれあいの喜び!仙台自主夜間中学

家庭の事情や病気等で、小・中学校時代の基礎的学習が不十分なために学び直したいという人を対象に2014年11月から開講しています。市内外から来ている生徒さんの年齢は10代から80代と幅広く、動機も多様。教えるのは元教師などのボランティア講師で、個々の学習希望に合わせて教材を手作りするなど、きめ細かく寄り添っています。

- 授 業 日：毎月第1、第3水曜日
・昼間部 14:00～16:30
・夜間部 18:00～20:30
- 授業場所：仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 対 象：家庭の事情や病気などで小・中学校に行けなかった人、小・中学校を卒業していても、日常生活に不便を感じている人、現在、さまざまな理由で学校に行っていない人など
※年齢は関係ありません
- 申込方法：下記連絡先にご気軽にご相談ください。見学可能(ただし、事前にご連絡ください)
- 応募主体：仙台に夜間中学をつくり育てる会
- 連絡先：担当：中澤
TEL：090-7562-3227
E-mail：c.yasaka.r@ab.auone-net.jp

パソコンで困っていたら個別指導いたします

パソコンの基本操作がよくわからない、WordやExcelを基礎から教えてほしい、写真を整理してアルバムを作りたい、タブレットやスマホの使い方を覚えたいなど、困っていたらご相談ください。専門のインストラクターが丁寧に指導いたします。

- 日 時：火曜日～土曜日 10:00～17:00
※日程は相談に応じます
- 場 所：みやぎNPOプラザ ショッピングエリア内“Paso Cafe”
- 指 導 料：1時間1,000円(指導内容によっては資料代を別途いただく場合があります)

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2016.7.16現在)敬称略

●正会員 50名

- <仙台市> ●猪狩慎一 ●熊谷智美 ●小岩孝子 ●甲山知苗
●高浦康有 ●若生勲 ●NPO法人仙台シニアネットクラブ
●NPO法人せんだい杜の子ども劇場
●NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
●NPO法人FORYOUにこにこの家
- <登米市> ●熊谷由紀
- <大崎市> ●波多野卓司 ●NPO法人Synapse40
- <山元町> ●NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元 ●NPO法人里山ひろば

●賛助会員 101名

- <仙台市> ●阿部幸一 ●市川喜巳 ●深野せつ子
●NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
●NPO法人童里夢 ●宮城県麗人会
- <岩沼市> ●渡辺栄一

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	□ 3,000円
賛助会員NPO	□ 5,000円
賛助会員企業・団体	□ 20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

7月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

2016年9月開始!子どもを笑顔にするお手伝いしませんか?~調理ボランティア募集~

子ども食堂「おりぎの食卓」では、孤食になりがちなお子様、高齢の方が昔の大家族のように皆で食卓を囲めるお手伝いをします。子どもたちが食べる食事を作るボランティアをお願いします!

- 活動日時：毎週木曜日 14:00~19:30
18:00からは皆で食事タイム。時間帯はご相談ください。
- 活動場所：NPO法人おりぎの家「おりぎの食卓」
(仙台市太白区長町1-12-14)
- 活動内容：普段一人で夕飯を食べている子どもや高齢者の方へ、旬の野菜がメインのお食事を作ります。
- 対象：初心者でも大丈夫!料理教室主催者が1日講習を実施。みんなで作るから、自然と料理の腕が上がるかも?!
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで問合せ
※子どもを見守る「見守りスタッフ」も募集中です!
(16:00~20:00)
- 応募主体：NPO法人おりぎの家
- 連絡先：〒982-0011 仙台市太白区長町1-12-14
TEL/FAX：022-249-1625
URL：http://oriza1.jimdo.com/

平成28年★夏★元気な子どもたちと楽しもう♪ 夏休みボランティア募集!!

アフタースクールぱるけは、障がいを持った子どもたちも楽しく豊かな放課後を過ごせるように活動を行っています。子どもたちと一緒に遊んでくれる方大々大歓迎です。

- 活動期間：7月21日(木)~8月24日(水)
※活動曜日・時間をご相談下さい。
詳細：http://paruke.com/
- 活動場所：①ぱるけ柏木
障がいのある小学生を対象とした、放課後デイサービス(仙台市青葉区柏木1-7-36)
②ぱるけ南仙台
障がいのある小学生を対象とした、放課後デイサービス(仙台市太白区西中田5-18-3)
③ぱるけ西中田
障がいのある中~高校生を対象とした、放課後等デイサービス事業
(仙台市太白区柳生2-9-2-2-F)
※事業所・その日により時間・流れが若干異なります。
- 活動内容：おやつ作り：シャカシャカポテト等
季節の工作や歌：七夕作り~♪
自由遊び：カードゲーム、読書
お買い物：昼食作りの材料購入など
外出：外食、縄文の森、図書館~♪
活動に伴うお手伝い(安全の見守りや買い物支払

の補助等)をお願いします♪

- 交通費：実費支給(上限600円)
- 保険：当方負担でボランティア保険加入
※3回以上活動いただける方
- 申込方法：興味を持たれた方は、上記各事業所の担当者までお気軽にご連絡ください。
- 応募主体：NPO法人アフタースクールぱるけ
- 連絡先：①ぱるけ柏木 担当：佐藤
TEL/FAX：022-233-8425
②ぱるけ南仙台 担当：阿部
TEL/FAX：022-741-2397
③ぱるけ西中田 担当：鎌田
TEL/FAX：022-707-4187

「こどもがつくるまち」をサポートしてくれる ボランティア大募集!

こどもがつくるまち「Piccoliせんだい」という小学生を対象に「働く・稼いだお金で生活する」といった疑似体験が出来るイベントを毎年企画しています!今年は9月17日~19日の3日間開催します。この3日間一緒にイベント運営を行うボランティアを募集しています。

- 活動日時：9月17日(土)、18日(日)、19日(月・祝)
9:00~17:00
- 活動場所：宮城野区中央市民センター
(仙台市宮城野区五輪2-12-70)
- 活動内容：子どもの成長のために子どもを見守る
- 応募資格：子ども対象のボランティアに興味がある方はだれでも!(年齢不問)
- 応募方法：下記連絡先まで、気軽にご連絡ください。簡単な面談を行います。
- 連絡先：NPOピコせんサポーター事務局
〒983-0047仙台市宮城野区銀杏町14-15
TEL：022-296-6056 / 080-2823-0872
E-mail：piccolisendai@gmail.com
URL：http://picosenboshu.wix.com/mysite

生活支援サポーター募集

私たちは、「地域の住民同士がお互いに困った時には助け合い、高齢になっても、病気になっても、孤立せず、自分らしく、住み慣れた自宅・地域で暮らし続けたい!」そんな思いをお持ちの方々と、活動を行ってきました。地域のために、困っている人のために何か出来ることは?趣味や特技を活かし何かしたい!そんなあなたをお待ちしています。

- 活動内容：①子育て支援
子育て支援事業の開催、一時預りなど
②生活支援
介護相談(ケアマネージャーについて、施設入所について)、代行支援(薬の受取り、荷物の発送や受取り)など
※その他にも、様々な活動を行っています。活



日本公庫では、ソーシャルビジネス(※)を 営む皆さまを全力でサポートします!

※高齢者や障がい者の介護・福祉、子育て支援、環境保護、地域活性化など、地域や社会が抱える課題の解決に取り組む事業をいいます。

借入は単に資金需要を満たす
だけではありません。経営課題
解決のための糸口の一つです。

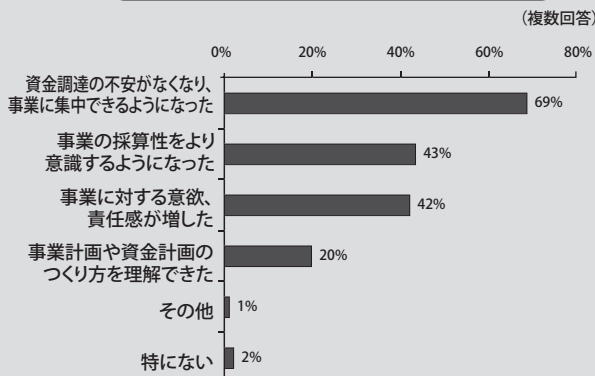
例えば、

①委託事業に採択されたもの
の、精算払いのため、つなぎ資
金が必要・・・

②これまで委託事業のみであっ
たが、もう一つの柱として別の事
業も始めてみたい・・・

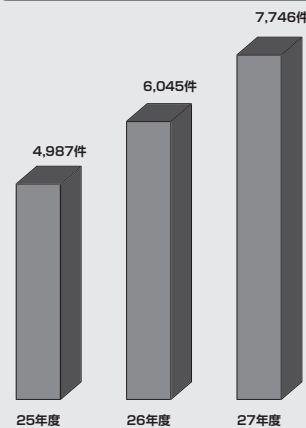
など、お悩みになったことはござ
いませんか?そのような時はぜ
ひご相談ください!!

金融機関からの借入が経営に与えた影響



資料:日本公庫「平成27年度地域社会の課題解決に取り組むみなさまの資金調達等に関するアンケート」
(注)日本公庫が融資したソーシャルビジネスを行う事業者を対象としたアンケートです。グラフはNPO法人のみを集計しています。

ソーシャルビジネス関連融資実績(全国)



東北広域営業推進室

〒980-8452 仙台市青葉区中央1-6-35(東京建物仙台ビル9階) TEL022-222-5339(担当/鎌田、松宮)



日本政策金融公庫
国民生活事業

会計サポーター派遣 「経理事務代行」始めます!

経理担当人員の確保ができない、経理が苦手...そんな悩みを持つNPOの方、経理をお引き受けします!

一 経験豊富な担当者一

NPO法人会計の知識と、長年の会計・経理経験を持つ会計サポーターが訪問、担当させていただきます。

一 団体に沿った支援一

はじめに打ち合わせの時間を取らせて頂き、ご希望に沿った内容をご提案させていただきます。

支援内容

●記帳代行

会計伝票の作成・会計ソフト等の入力

●領収証・請求書整理

証憑書類の貼付・ファイリング

●決算書作成

活動計算書、注記、貸借対照表など財務諸表作成

※税理士業務(税務書類の作成、税務相談)

等はお受けできません

【対 象】

仙台市内のNPO法人
※仙台市外の法人はご相談ください

【費 用】

4,500円/月~ 依頼内容により相談
※決算書作成・会計ソフトの初期設定に
つきましては別途費用をご負担いただきます
※実費分の交通費をご負担いただきます
※年間登録料(10,000円)が別途必要です

【申込方法】

下記までTEL かメールでお問合せください

問合せ

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

連絡先は、下記をご覧ください。